ヤツデ　　ウコギ科



1～3ｍほどの常緑低木で、日陰でもよく生育する。枝先に両性花、下部に雄花を咲かせる。

両性花は同じ花同士での受粉(自家受粉)を避ける為、雄しべと雌しべの成熟時期をずらす仕組みとなっている。

園内の花期は11月上旬から12月下旬頃。



雄性期の花

雌性期の花



まず雄しべが発達し、昆虫によって花粉が運ばれる(**雄性期**)。

その後、花弁と雄しべが落ち、中性期(**無性期**)の数日を経る。

その後、雌しべが成熟し、別の花の花粉を媒介した昆虫によって受粉する(**雌性期**)。



黄色い花盤に糖度の高い蜜が染み出し、花粉を媒介する昆虫を誘引する。

特にハエやアブなどが多く集まる。